



※参考値出所：国立病院機構 平成 27 年度医療の質の評価・公表推進事業における臨床評価指標

5 疾病に属さない医療等 10 人工膝関節全置換術後の早期リハビリテーション実施率 計測 31 病院平均値

## ■ 早期リハビリ介入の達成で術後合併症に備える

2015 年度に荻窪病院に入院した患者さんの内、リハビリテーションを実施した比率は 2014 年度から 8.7% 増加し 40.6% でした。疾患構成としては運動器疾患が最も多く次いで心臓血管、廃用症候群と続きます。

合併症や感染症を防ぐ為にハイリスクの患者さんを除いて早期にリハビリテーションを開始する事は重要な事であり、人工膝関節全置換術後の早期リハビリテーション実施率が示すように早期（術後 4 日以内）介入が 100%に近い数値で行われる事が求められます。

荻窪病院では 3 ヶ年良好な数値を計上しており今後も良好な数値を維持できるように努めて参ります。